

家庭などから排出されるゴミは、4月から集団資源回収できる品目に「空き缶」を追加するなど、町内会とも連携しながら、ゴミ減量化に向けた取り組みを進めています。

国道及び道道は、各町内会から維持や改修等の要望があることから、関係機関に対し適切な維持管理や道路改良の早期実施に向けて要請に努めています。

町道の改良及び橋梁の長寿命化は、各町内会の要望なども踏まえ、緊急性や優先度を判断するとともに、財政状況も考慮しながら実施計画に基づき事業を推進し、安全な交通の確保に努めています。

町営住宅建替事業は、平成30年度の入居状況などを踏まえ、当初の2棟8戸の事業内容を見直し、平成31年度は1棟4戸を建設する計画としています。

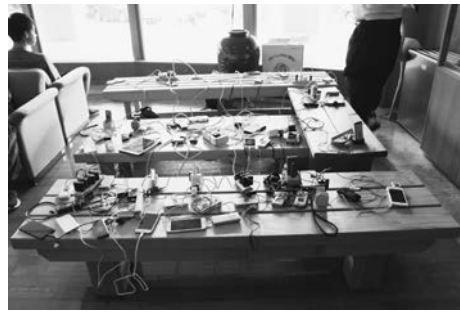
また、入居者が安心して暮らせるよう、適正な維持管理に努めるとともに、入居要件等の制限がありますが、町営住宅の入居率の向上に努めています。

空き家対策は、「空家等の適正管理に関する条例」施行後、自主的な解体が進んでいる状況です。また、一部の危険空家も解体が進むなどの状況になっていることから、一定程度初期の目標は達成されています。

しかし、撤去要請に従わず依然として放置される危険空家が多くあり、町内会からの

解体要望も多くあることから、平成31年度から条例に基づいた行政代執行を視野に、町民の不安の解消に努めています。

防災は、近年の気象変動により、当町を取り巻く環境も変化しており、福島川洪水浸水区域、津波浸水水位等、新たに公表されている情報を取り込む等「防災計画」全体の見直しを平成31年度に着手していきます。また、防災訓練については、内容・方法等の具体的な災害を想定した中で実施の上、町民のさらなる防災意識の向上を図っていきます。



▲胆振東部地震に伴う停電時の充電コーナーの設置

地域コミュニティの活動拠点である各町内会館等は、再編計画に基づき、順次、統廃合を進めており、平成30年度は3町内会館を解体し、1施設を建設しました。平成31年度は1施設を解体・新築、1か所の改修を予定しており、引き続き各町内会と協議を行うとともに、再編計画に基づ

く整理統合に取り組んでいきます。



▲平成30年度に建設した宮歌・豊浜生活館

国における地方財政対策として、地方の一般財源総額は、前年度を上回る62兆7千億円を確保し、地方税が増収となる中、地方交付税総額は7年ぶりの増額となり、16兆1千8百9億円を確保するとともに、臨時財政対策債は18%の減額となっています。

当町における予算編成は、第5次福島町総合計画及び第2次福島町まちづくり行財政推進プランを基軸とし、有利な財源の確保を図るとともに、事業推進に向けた予算計上に努めています。

歳入では、町税の町民税において個人、法人とも前年並みの計上としていますが、平成29年度から増額となった北海道新幹線開業に伴う償却資産に係る固定資産税は、大臣及び知事配分が減少する見込みであり、町税全体では対前年比2千4百万円の減となつ

ています。また、主要な財源である普通交付税は、国の出口ベースと前年度実績などを考慮し、当初予算では1.8%増としています。

歳出では、産業基盤の充実を図るため、農林水産業や商業事業者へのがんばる地元企業等応援事業を継続するとともに、引き続き少子高齢化に伴う定住対策と、町営住宅建設や生活道路の環境整備、更には老朽化している生活館等の再編整備を重点的に取り組んでいくこととしています。

また、平成30年度から新設した町立診療所特別会計や広域化された国民健康保険特別会計などの特別会計も含め、国や道など関係機関と連携しながら各種施策を積極的に推進するとともに、町民の皆様が将来にわたって安心して暮らせる町を目指し、今後も健全な財政運営に努めています。

○おすび

以上、平成31年度の町政執行に臨むにあたり私の所信を申し上げます。

思いやりのある行政をめざし、「まちづくり基本条例」の基本理念に基づき、まちづくりの主体である町民と、町民からまちづくりの仕事を託された議会と行政が一体となって「協働によるまちづくり」を実現していきます。

人口減少が続く中で、本町を取り巻く経済環境は大変厳しい状況にあります。基盤産業である水産業を基軸に浜

の生産力を高め、地域経済を循環させることで、ここに住むすべての町民が笑顔になるような政策の実行に努めていきます。

町長に就任以来、地元企業の事業継続や子育て支援に政策予算を重点配分してきましたが、第5次福島町総合計画の前期計画の最終年となる平成31年度の予算にあつては、厳しい財政状況ではあります。町の持続的な運営を維持するため、関連予算に対して引き続き積極的な予算配分としています。

人生百年時代と言われる中、平成の時代から新たな時代へと転換を迎え、大きく時代が変化する中で、機警虚明(きけいきよめい)の姿勢で新たな時代に対応していきます。

新たな時代に向かって町民とともに、福島町の新時代を切り開いていくため、町のリーダーとしてその責任を果たしていきます。

これまで、町民並びに町議会議員の皆様から様々な機会を通じて、いただいた多くの意見や提言に、真摯に耳を傾け、皆様の思いに誠実に向き合い、町民の思いに寄り添った政策の実現に向けて、職員一丸となってさらなる町政の推進に邁進する所存です。

最後に、町民の皆様のご理解とご協力並びに町議会議員の皆様のご指導とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。町政執行方針といたします。